

## 2018年賀詞交歓会を開催 栗山勝訓理事長が所信表明

一般社団法人静岡青年会議所は1月16日、2018年度新年例会「賀詞交歓会」を開催した。

例会には川勝平太静岡県知事はじめ、行政・団体、青年会議所の関係者ら約400人が参加。栗山勝訓理事長の所信表明や役員紹介などのほか、本年度の事業方針を発表した。栗山理事長は、イノベーションを合言葉に、組織の根幹を見直すとともに、



栗山勝訓理事長

会員活動やまちづくり運動を手がけていきたいと表明。①時代に即したスマートな未来志向型の組織への変革②戦略的ブランディングに基づく目に見える価値の創造③会員の相互交流の先に生まれるJAYCEEのポテンシャルの創出④地域経済の発展に尽力する真の地域のリーダー育成⑤インフラを通じて発展してきた

文化創造を基軸とした持続可能な経済活力の向上⑥感謝と敬意の精神に裏打ちされた強く逞しく未来を切り拓くことができる人材の育成—という六つの基本方針を紹介。あわせて、2018年度のスローガンを『胸の中の火種を变革の炎に 誰もがが明るい夢を想い描けるまち静岡へイノベーションを巻き起こせ』にしたことを発表した。

## 今年もは選択し、行動する1年に！ 現役、OBが2018年度新年会に集う

一般社団法人島田青年会議所（島田JC、川端祥太郎理事長、会員34人）は1月6日、2018年度新年

会を島田市大井町の宮美殿で開い

た。現役会員やOBなど約60人が集まった。

会場では2018年度スローガン「選択・行動」～やろうぜ！JC～

を披露。第53代理事長の川端氏があいさつに立ち「私たちはこれまで、自らの未来を自らが選択し自分の道を歩んできた。その結果の上に今の自分が存在していることを忘れてはならない」と話すとともに、「JC運動が地域に認知されつつある今、地域に必要な組織へと進化するため、今まで深めてきた他団体とのさらなる連携を進めていく」と強調した。今年1年間の活動方針にも触れ「52年間先輩方がつないできた仲間との絆に感謝し、運動を通じて得たかけがえのない仲間との友情を糧に行動し続けよう」と呼びかけた。



今年度の所信を表明する川端理事長

### NPO法人静岡情報産業協会

## 効果的なRPA導入学ぶセミナー 2月13日開催、受講生募集中

NPO法人静岡情報産業協会（鈴木木佐太郎理事長）は2月13日、働き方改革セミナーの第2弾として、業務をRPA導入しロボットを前提に、業務を変えてガバナンスを効かせることを開催する。講師は㈱エル・ティー・エ

参加の場合は1人3000円。定員は50人。

スのシニアコンサルタント、吉野貴博氏。会場は静岡市産学交流センター7階大会議室で15時開演。講演終了後は隣のホテルシティオで講師を交えて交流会を行う。講演は参加費無料。交流会はICT会員1社2人、一般会員は1社1人無料で、それ以上

RPA(Robotic Process Automation)は、人がPC上で行っている操作を自動化するソリューションのことで、高度な業務自動化の入り口として注目されている技術。講演では国際的な研究メンバーとして国際会議にも出席している吉野氏が、効果を出すために必要な業務改革のポイントを交えたRPA導入のフレームワークを解説する。

●問い合わせ、054-388-9288